

平成31年4月5日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

2019年3月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2019年3月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2018年3月期											
	2017年									2018年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人 (B to B)	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位: 口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位: 口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 3月次の概況 >

3月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝111円台前半で取引が始まり、米中通商問題への楽観的見通しの台頭や良好な米国経済指標の結果を背景に5日には月の高値となる112円台前半をつけました。その後は、米国経済指標の結果や英国のEU離脱問題の動向を注視しつつ110円台後半から111円台後半にかけての狭いレンジでの相場推移となりましたが、20日にFOMC（米国連邦公開市場委員会）にて年内の利上げを見送る見通しが示されるとドルは大きく値を下げ、22日には米国債券市場において長短金利が逆転する現象が発生し、欧州経済指標の悪化もありグローバル経済後退への懸念からリスクオフムードが台頭し、25日にかけて109円台後半の安値をつけました。その後は、再開した米中貿易協議の進展への期待等から値を戻し、110円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、英ポンドがEU離脱問題を受けて値動きが拡大した他は総じて値動きは小さく、全体としての変動率は、総じて前月に続き低い水準が継続いたしました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円が減少した一方英ポンド／円が増加するなど通貨ペアによって増減はあったものの、全体としては前月比2%増加の774億通貨単位にとどまりました。一方、営業収益は、米ドル／円の取引高減少に加え、下旬以降のリスクオフの動きから新興国通貨の値動き拡大に伴い取引高が増加するなど相対的に収益性の高い通貨の取引高割合が増加し全体としての収益性が高まったことや同じく下旬に発生したトルコ当局のトルコリラ売り阻止のための流動性制限によるスワップ市場の一時的混乱に対して中立を維持したことにより結果的にスワップ金利収益が増加したことに加え、システム子会社によるシステム開発関連売上の増加等もあり前月比94%増加の698百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,169口座増加の330,230口座、マネパカード口座数は前月比1,298口座増加の151,621口座と前月に続き低調な変動率を反映して増加ペースは鈍化した一方、外国為替取引預り証拠金は、顧客ポジション増加の動き等を背景に、前月比872百万円増加の62,557百万円となりました。

以 上